平成 27 年度　公開講座 実施結果

1.　講 座 名：**環境と資源から見る国際社会―21 世紀の世界と日本**
2.　開催日時：第 1 回　10 月 24 日（土）、第 2 回　11 月　7 日（土）
　　第 3 回　11 月 28 日（土）、第 4 回　12 月 12 日（土）
3.　開催場所：長久手キャンパス　K 棟多目的ホール、S 棟 S101 教室
4.　受講申込者：一般受講申込 50 名（修了証授与者 25 名）

＜講座内容＞

○第 1 回　　受講者数 51 名（一般と学生）

「人間と環境の共存の原点を見すえる：アフリカにおけるフィールドワークから」

テーマ	講師
生態人類学への誘い： 人類と環境の 700 万年史	亀井　伸孝 （外国語学部国際関係学科准教授）
野生生物保全の観点から見た資源開発と国際支援	西原　智昭 氏 （Wildlife Conservation Society、コンゴ共和国在住）

○第 2 回　　受講者数 48 名（一般と学生）

「私たちをとりまく「食」を考える：日本の里山、アジアとの関わり」

テーマ	講師
現代日本社会において猟師として生きる	千松　信也 氏 （猟師）
アジアにおける食料貿易と〈和食〉	西野　真由 （外国語学部中国学科准教授）

○第 3 回　　受講者数 53 名（一般と学生）

「資源利用のこれまでとこれから：民族学の視点、経済学の視点」

テーマ	講師
極限の地で生きてきた人々： アンデス、ヒマラヤ、モンゴルのフィールドから	稲村　哲也 （放送大学教養学部教授）
シェール革命と世界情勢の激変	草野　昭一 （外国語学部国際関係学科教授）

○第 4 回　　受講者数 44 名（一般と学生）

「資源・エネルギー政策と地域社会：福島とカタルーニャの事例」

テーマ	講師
3･11 原子力災害後の人と野生動植物の関係変化: 農山村の暮らしから	西崎　伸子 氏 （福島大学行政政策学類准教授）
カタルーニャの独立派が構想する新国家の 資源・エネルギー・環境問題	奥野　良知 （外国語学部ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻准教授）